

2019 年原水爆禁止国民平和大会

国際青年リレー行進者（東京、神奈川）通し参加



ゲレーロ・AG・サニョ

（平和教育構築運動 フィリピン）

1975 年生まれ。フィリピン大学で景観工学を専攻した後、写真家として報道分野で活躍。気候変動防止を訴えるクライメイト・ウォークに参加。またアーティストとして、海洋生物保護を訴える絵を公共の場所に描き、クジラとイルカの虐殺・虐待防止を訴える活動にもとりくむ。

ミンダナオの和平を進める活動にも参加し、芸術を通じて平和を推進するために紛争地帯で活動する国際 NGO の平和大使に選ばれて中東他の地域を訪問。2013 年には 4000 人のボランティアを率いて、マニラのエドサ通りからケソン市に至る国道沿い 3,770 メートルの壁に世界最長の「平和の壁画」を描くプロジェクトを完成させた。ミンダナオのスルー州で教育と平和を推進する「アート・アタック・グループ」を創立。

2019 年 1 月、ワシントン D.C の「ナショナルジオグラフィック」<https://natgeotv.jp/global/about/> という世界的に有名な雑誌の本部で行われた気候変動に関する会議のスピーカーの 1 人として、選ばれ、写真を発表。

2015 年より国際青年リレー行進者として国民平和大会、そして原水爆禁止世界大会に海外から参加。2019 年の今年も東京から神奈川県内を通し行進で参加。

（2015 年福岡→長崎終結、2016 年宮城→福島、大阪、2017 年滋賀→奈良、広島、2018 年静岡県内）

2015 年より国際青年リレー行進者の写真や思い出を集めたフォトブック「私たちの歩いた平和行進」でも中心となっている。